

# グリーンスクラム 取扱説明書

## 内容物・規格

	
グリーンスクラム (植生シート装着)	天面用植生シート
最大充填質量	2,000kg
容量	1m <sup>3</sup>
材質	ポリプロピレン
1梱包(※)	4枚

(※)入数・荷姿はご注文の数量によって異なります。

## 必ずお読みください



一般的な大型土のうとの違いは以下の通りです。  
 ・袋内部の植生シートに**種子・肥料**を装着  
 ・生育促進のため**柔軟性のあるネット**を使用



植生シートの  
破損注意！  
→製作手順②,③



岩、砂、礫(れき)  
等は避けて！  
→製作手順③



土砂充填時の  
形崩れ注意！  
→製作手順②,③

## 製作手順

- 

外袋を開封し、グリーンスクラムと天面用植生シートを取り出します。  
 ※天面用植生シートは、グリーンスクラムを広げた内側に梱包されています。



※グリーンスクラムの半面に種子・肥料が装着された植生シート(外側:緑、内側:白)が付いています。
- 

4隅にフック掛けがあるのでそれらを利用してスタンドに引っ掛けます。  
**底が地面にしっかりと付き、傾きやたるみが無く水平になるよう調節**してください。



植生シートがバケットの奥側(バックホウから見て向こう側)になるように設置してください。植生シートの破損を抑制できます。
- 

バックホウを用いて、**植生シートが破損しないように土砂を充填**します。土砂は袋の口いっぱいまで充填してください。



**OVER 2000kg** 充填する土砂は、最大充填質量(2,000kg)を上限とします。

 充填する土砂は、**砂や礫(れき)、岩質土など植物の生育に適さない土は避けて**ください。
- 

天面部の土砂を平らにならし、天面用植生シートを設置します。天面用植生シートに裏表はありませんので、気にせず設置いただけます。
- 

ネット部の絞り用ストラップを絞って完成です。



柔軟性のある素材ですが、土砂はこぼれません。また、底が四角形ですが、土砂を充填すると膨らみ、全体が円柱状になります。

## 設置

- 

① バケットのフックで吊り上げ設置場所に移動します。



植生シート側  
前→

 **植生シート側が前面**になるように設置してください。
  - 

② 天面を転圧し、平らに整形します。



 乾燥により植物の生育に影響が出る可能性があります。乾燥を防ぐためには、植生土のう背面をできるだけ法面に密着させるか、裏込めを行ってください。
- 注意点**
-  移動中の土のうの下には入らないでください。
  -  吊り上げは必ず一つずつ、両方のベルトを使用してください。
  -  設置する地面を成形し安定性を保ってください。
  -  設置後の移動は植生に影響を与えるので避けてください。

## 製作器具に関して

グリーンスクラムは、植物が生育しやすいように一般の大型土のうよりも目合いを広げ、柔軟性のあるネットを使用しております。それに伴い、一般的な大型土のうの製作方法の中には、その構造上注意が必要な場合もございます。それらの注意点を踏まえ、グリーンスクラムに適したおすすめの土砂充填方法をご紹介します。

### フレコンキーパー



形崩れしにくく、充分な量の土砂を充填できます。  
 (製造元: 有限会社ちふりや工業様)

### 単管フレーム



土砂充填時に袋が重量で広がり、充填量が少なくなることがありますのでご注意ください。吊り上げの際にフックが外れない場合は、フック掛けをハサミ等で切断してください。

### 注意点



**たるみに注意！！**  
 底が地面に付いた状態で、傾かないよう水平に設置して土砂を充填してください。**袋がたるんだ状態で土砂を充填すると、植生シートの破損に繋がります**のでご注意ください。



**手持ちでの製作は危険！！**  
 グリーンスクラムはネットに柔軟性があるため、土砂を充填すると袋が傾きやすく、手持ちによる製作は危険を伴います。各種製作器具を使用した土砂の充填を推奨します。

※上記製品写真の一部は試作品のため、現状とベルトの色等が異なります。また、品質改良のため、仕様を予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。

ご質問はお近くの支店へどうぞお気軽にお問合せください。